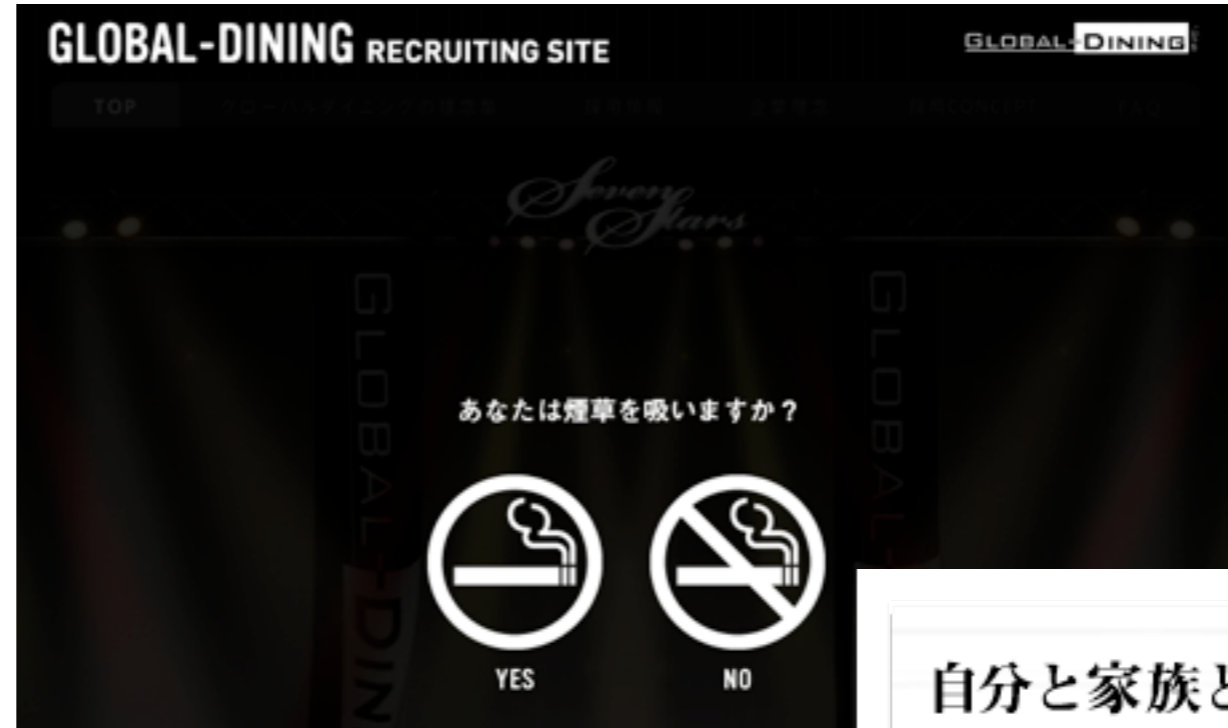


そして、全社禁煙・全席禁煙を実践する時代（3）

飲食業（東京都）

企業戦略として企業競争力を高めるため



私たちは、レストランビジネスで、世界一を目指しています。

レストランビジネスは、
ウルトラマラソンのように過酷ですが、
それ以上の達成感と成長を得ることができます。

だからこそ、このチャレンジには、
体力と精神力という“健康”が必要不可欠なのです。

グローバルダイニングは、
全社員が煙草を吸わない企業を目指します。

採用ページへ

自分と家族と社会に対して、
責任を持てる人でありたい

世界で起こっていることをよく見ていると、

人として何をしちゃいけないか、

何をすべきかが見えてくる。

地球を食いちらかしちゃいけない、

人に迷惑をかけちゃいけない。

でもそれ以外はみんな、

自分のために、家族のために、

人生をかけて楽しめばいいじゃない。

仕事とうまくつきあいながら。

ね、そう、思わない？

WHOたばこ規制枠組条約をバイブルに

条約の基本原則（4条） → タバコフリー職場への適用

すべての者がリスクについて知らされること

- 愛煙vs嫌煙の感情的対立を避ける。
- 喫煙・非喫煙全ての人にとって「職場における健康障害」の原因になることを理解してもらう。
- 在職中・退職後死亡のデータと喫煙関連疾患との突き合わせで説得材料を揃える。

強い政治の意思

- 経営者の政治的判断と決断を引き出すことが鍵。
- 強い信念による裏付けと誠意ある対話で理解と協力を求める。
- 女性に対する相加的なリスクを加味（妊婦の保護）。

公衆衛生の予防原則

- 今ある危険と将来おこりうる危険
- 目に見える危険と目に見えない危険
- 実は殆どの労働衛生措置は予防原則に則っている。

市民社会の参加

- 市民社会を組合や一般従業員に置き換えてみる。
- 地域社会における公共的使命を付加価値に転換する。
- 現代及び次世代（労働者）の健康を守るという大義。

「トップダウン+ボトムアップ」 「内圧+外圧」 がキー